

# 1. 徳島大学病院の臨床研修プログラムの魅力

## ▶ 徳島大学病院 研修医2年目 遠藤裕美

私はフィリピンのピコールクリスチャン医科大学を卒業し2023年から徳島大学の初期臨床研修プログラムである『AWAすだちプログラム』で初期研修を始めました。『AWAすだちプログラム』では、大学病院のみならず徳島県内の病院、近畿圏の病院、北は北海道、南は沖縄の病院で研修することができます。また、研修する診療科においても、自身で選択し、その順番まで決める事ができます。私の場合は、海外の医科大学を卒業したので、日本の医療及び日本の臨床現場がかなり異なることはわかっていました。そこで、自分が比較的慣れている分野である診療科から研修を始めましたが、日本の大学病院は最先端の治療が提供される場所であり、フィリピンとは全く異なる治療の数々に驚くばかりでした。結果としては、ご指導いただく先生方に多大なご迷惑をおかけすることになりました。しかし、上級医、指導医の先生方は、私が徳島大学出身ではなくても快く丁寧に指導してくれました。これは、他の大学出身者の研修医達も実感しているところです。そのおかげで、大学病院の研修をのびのびと受けることができ、初期研修そのものが面白くなってきました。2年目の研修では、3年目に入局する診療科を念頭に置いて、自分の興味のある診療科を選択し、徳島県立三好病院、つるぎ町立半田病院、徳島市民病院などの外の病院での研修経験を糧にすることができました。

私は自身の成長に合わせた初期研修を過ごすことで、人より遅いながらも、なんとか後期研修に間に合うレベルになったかな…と思います。

他の研修医の中には、最初の1年間を3次救急病院で過ごし、救急手術や処置、全身管理に慣れてから、2年目に進路と関連のある診療科で更なる知識を身につけている研修医もいれば、外科を中心に選択して必要なスキルを磨きあげている研修医もいました。自分自身に合ったスピードで成長させていくことができる最大の理由は、自分達の未来に向かってカスタマイズ出来る『AWAすだちプログラム』だからこそだと実感しています。このプログラムに対して感謝の気持ちしかありません。徳島大学病院卒後臨床研修センターの『AWAすだちプログラム』は最高の初期研修プログラムです。